

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (NPO-IRI) 2021 年=令和 3 年 6 月 通常総会 (Zoom 総会) 議案等 (草案)

総会等の開催は、既に、2021 年 4 月 13 日にホームページに公示済み。

本案は、総会前に理事会(全理事 8 名)の承認を得るべき草案です。監査報告書は最終頁に添付。理事・監事・皆様のご意見 (誤記や要修正も) を下記にお寄せください。

山本幹男 理事長 nsnpoiri@gmail.com と IRI 本部事務局 iri@a-iri.org へ同報で。

理事長：090-9232-9542 FAX 043-255-9143 本部：電話 043-255-5481 FAX 043-255-5482

議案書の修正は、今後**ホームページ HP**に公示します：<http://www.a-iri.org/iri-jp>

【開催日、時間】 2021 年 6 月 5 日 (土) 13:30-15:30

対面による総会集会はせずに、Zoom による総会を開催致します。なお、意見交換は総会までネット上にて行います。 理由：新型コロナウイルスの拡散防止。

IRI の社員会員 (社員ではなく、決議権を持つ会員の意味) は、**全員 5 月 26 日 (水) 迄に、書面表決書をご提出**ください。議案書などに誤記や要修正事項を発見された方のご意見のある方は、**お知らせ**ください。

書面表決提出先：**IRI** iri@a-iri.org FAX 043-255-5482

<**IRI**本部所在地>

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 ユウキビル 4FA 4階 **IRI**

電話：043-255-5481 FAX：043-255-5482

地図ご参照：<http://www.a-iri.org/iri-jp/irimap.pdf>

総 会 議 題 (案)

1. 審議事項

1.1 令和 2 年度 事業報告 (案) <資料① p.2>

1.2 令和 2 年度 決算報告 (案) <資料② p.8>

1.3 令和 2 年度 監査報告 (案) <資料③ p.10> <監査報告書 p.21>

1.4 令和 3 年度 事業計画 (案) <資料④p.11、⑨組織表・組織図 p.19,20>

NPO 以外の(仮称)「国際総合研究機構(IRI)」・「IRI-潜在能力科学研究所」設立・大型(仮称)「いやしのビル」建設等予定。

1.5 本部移転計画 (案) <資料⑤ p.15> **ホームページに 新本部ビル新築計画 順次掲載**

1.6 令和 3 年度予算計画 (案) <資料⑥ p.16>

(解説) 令和 3 年度 活動予算書は、大きな委託などが入り、予算額をオーバーして使用するには、総会を再度開き承認を得なくてはならないので、例年同様、決してオーバーしないであろう金額を入れてある。

現在予測内での実施は、参考資料 実施指針 <資料⑦ p.17>に沿う。

1.7 令和 3 年度 役員選出 (案) <資料⑧「役員名簿」p.18>

この表以外の方の**理事・監事への立候補**：2021 年 4 月 26 日(月)締切 山本幹男理事長迄

新理事内の、理事長等の役割分担は、総会直後ネット開催の新理事会にて決定する事項。

2. 討議事項

2.1 今後の発展方向など

2.2 その他

1.1 令和 2 年度 事業報告 (案) <理事会/総会 審議事項①>

(法第 10 条第 1 項関係様式)

令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の報告

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なった。
- (2) 保健、医療、福祉、街創り事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画・街創りの企画・推進、等を行なった。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なった。
また、人的並びに IT を活用した、種々の交流支援事業を行った。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	100	国内外一般人 多数	18,257
保健、医療、福祉、街創り事業	健康づくり (長谷)、医用画像診断支援、等 (弘前)、統合医療・代替医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画・街創りの企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	80	国内外一般人 多数	7,533
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催、関連出版等支援、等 また、人的並びに IT を活用した、種々の交流支援事業。	通年	東京、神奈川	60	国内外研究者、一般人 多数	5,052

令和 2 年度 事業報告

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

本部 ならびに 情報・研究センター 報告

本部 報告 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進した。

他法人の設立推進

2020 年度にも、「一般財団法人」の新設も、運用も容易なことから、資産の安全性からも、検討を継続した。しかし、組織の複雑化を避けるために、既存の一般財団法人をこのために利用する事も、検討対象に含めた。

これで、「(仮称)国際総合研究機構(IRI)」や「(仮称)IRI 潜在能力科学研究所」の設立をし、今後この分野の世界一の研究所化を目指す構想である。

他法人を設立しても、現在の NPO 法人は、弘前支部の活動等のために当面残す必要がある。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、継続した。

2020 年 11 月からは、他財源を活用して、長年の夢である本格的**大型ビル**として「いやしのビル」の**実現**の可能性が出て来た。山本理事長を中心に、その設計プラン作りに忙殺されている。詳細は本部移転計画の項に記す。

本構想の建設自体は他資金にて行うので、当機構としては、巨額の予算計上は行わない。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

人的並びに IT を活用した種々の交流支援

人的並びに IT 技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索し実施した。

特に、大学や他の研究機関との連携、海外の高名大学との連携は、優秀な人材確保のためにも急務で、可能性が出て来たので、検討中。

人材の公募

研究・技術・建築設計士・IT 広報・事務・秘書・院長候補・事務長候補など、各種人材の公簿を実施（ホームページ参照）しており、米国の現職大学教授、建築士、を含む若干の応募者有り。

心療内科・総合内科等クリニック・検診センター・研究所(合計診療室 10 以上、心理カウンセラー室 20 程度、大型診断機器 10 台以上)を開設するための準備として、創立期院長に帯津良一 帯津三敬病院名誉院長にご就任頂いた。より若い院長候補を公募中。より若い院長が定まった場合、帯津先生には名誉院長にご就任頂く計画。

2021 年 5 月から本格公募予定。

勤務地は、当面は千葉市稲毛区 JR 総武線 快速停車駅 近辺。

自薦、他薦者は、山本幹男理事長まで、nsnpoiri@gmail.com 090-9232-9542 Fax 043-255-9143

書類送付先： 理事長分室 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-13-31 Peace 山本幹男

情報・研究センター 報告 (中心 本部内、分室、支部その他各地に分散)

・先端科学技術等・街創り等に関する研究・教育・普及・推進・支援を、資金導入量に従って実施した。

・「いやしのビル」計画は前の本部の項に記した。

・脳機能変化の研究

脳波など、脳機能変化の研究を継続した。

・統合医療・代替医療の評価研究

今までに、気を入れた生体試料のバイオフィトン・蛍光やガスの放射強度に関する研究。気功師等が非接触で気等を入れた、きゅうりの切口から放射されるフォトンやガスの放射強度が対照群と比し、統計的有意に変化する事に関する研究等を実施してきた。

・潜在能力等の研究

人間の潜在能力に関する実験的研究と普及を精力的に継続した。

その中でも、特に熱心に取り組んだのは、ピラミッド型構造物内での瞑想実験である。本研究ではこの 12 年間に、バイオセンサーとして食用キュウリを利用するため、13,000 本のキュウリを輪切りにして実験に利用した。その結果、今までに、次の 9 報の研究原著論文が国際誌に掲載された(1)2013.4 研究論文「瞑想者のキュウリへの非接触効果」、(2)2015.5 研究論文「ピラミッド型構造物が関与した特異な非接触効果の発見」、(3)2016.6 研究論文「ピラミッド型構造物による未知なるフォースの発現」、(4)2018.3 研究論文「キュウリの季節に依存した生体反応リズムの発見」、(5)2018.4 研究論文「キュウリ切断面から放出されるガス濃度と成長軸の関係」(6)2019.3 研究論文「ピラミッド型構造物と人間の無意識との関連による未知なる遠隔作用の発見」(7)2019.8 研究論文「ピラミッド型構造物の潜在力」(8)2020.5 研究論文「ピラミッド型構造物の潜在力 II」。(9)2020.12 研究論文「ピラミッド型構造物の潜在力 III：季節変動するピラミッド効果と季節変動しないピラミッド効果の発見」。また、3 報のレビューが国際誌に掲載され、1 冊の単行本の 1 章分としても掲載された。

・生体計測サービス

健康に関わる製品やサービスなどの心身への影響を、生体計測を用いて実証する生体計測サービスを継続実施した。

・IRI-College

IRI-College の「潜在能力研究科」E-講座「脳を知ろう！」を河野貴美子 IRI 副理事長を中心として、ほぼ毎月 1 回東京にて粘り強く開催し続け、年度末までに累積 95 回継続した。この間、大学教授クラスの参加者も得ている。他のテーマを立ち上げる方向も検討中。

・統合医療・看護・介護・福祉とその研究・教育・普及

本事業に取り組み、訪問看護・訪問介護などに関する研究・教育・普及など可能な事から実施する団体との連携中。次項の「生命情報科学シンポジウム」や学会誌等でも研究発表等を実施。

・国際生命情報科学会(ISLIS)主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援

(1)「第 50 回」2020 年 9 月 11 日(金)～14 日(月)日本のハワイ熱海 海、山、自然 最高のロケーションで学ぶ：静岡県熱海市伊豆山「伊豆山研修」センターにて、開催を共催を準備したが、新型コロナウイルス拡散防止のため急遽集会は中止し、学会誌上開催発表に切り替え実施した。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.38, No.2 の編集制作支援を行った。

(2)「第 51 回」2021 年 3 月 14 日(日)新型コロナウイルス拡散防止のため本学会初の Zoom による online 学会を実施した。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information

Science」 Vol.39,No.1 の編集製作支援を行なった。

- ・ IRI 北杜健康研究センター

2013 年 10 月 1 日付で設立した 理事長 高橋武生

趣意骨子：山梨県北杜市を中心として、健康法を研究開発し・実施し、普及を図る。

昨年度に継続し、活動を継続中。

- ・ 幸福社会研究所(WHI) (2012 年 6 月創立)

平成 28 年度、理念創りとして、「地球幸福憲章」を、20 回程の討論会・検討会の開催やネット上での議論を活発に実施し、起案した。それを「IRI 幸福社会研究所創立 2 周年記念「地球幸福憲章」検討会」・「IRI 幸福社会研究所の総会」に諮り、確定させた。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。

その後の「地球幸福憲章」の普及・組織活動などは、NPO-IRI から独立した、上部団体に属さない「地球幸福憲章ネットワーク」の「世界本部」や「日本本部」が実施することとした。その組織が、高名な提唱者や賛同者を集め、2014.9.9 に学士会館にて発表会と記者会見を実施した。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。

- ・ 人間サイエンスの会

超党派国会議員による人間の「潜在能力」や「地球の未来」に関する研究討論を行う国会議員連盟「人間サイエンスの会」の講演会（一般人の参加も可）の共催・企画・運営支援は、主として国会議員会館内での開催が、2015 年 4 月に創立より 18 年で 173 回となった。

この講演会は、その後議員会館の使用が困難などで中断され、2018 年頃この国会議員連盟も解散された。

この種の講演会のなんらかの形での再開を数回国会議員より申し入れられ、検討中。

- ・ その他は、前年度を継続した。

令和2年度 事業報告
令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 報告

IRI 弘前支部は、青森県内医療施設の遠隔画像診断支援事業を行っている。依頼件数は、読影医の読影件数に制限があるため、増やすことはできないが、複数部位等の提供価値の高い読影を中心に依頼を受けるようにしてきた。一方、県内の遠隔画像診断支援市場は競合も多く、飽和状態であるため、依頼元の協業先では、県内の新規の医療施設の獲得は1件に留まった。

以上

令和2年度 決算報告
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)
IRI 弘前支部・令和2年度事業決算書

分類	科目	収入金額	支出金額
売上高	売上高(読影業務受託費)	¥7,104,515	
	売上高(その他)	¥0	
	売上金額合計	¥7,104,515	¥0
売上原価	売上原価(対医師業務謝金)		¥5,871,500
	売上原価(その他)		¥0
	売上原価合計	¥0	¥5,871,500
販売費・ 一般管理費	人件費		¥198,000
	IRI本部経費分担金		¥150,000
	支払手数料		¥20,350
	家賃		¥0
	保守費		¥0
	預り金(源泉税)		¥587,150
	仮受金		¥0
	事務用品費		¥0
	諸会費		¥0
	販売費・一般管理費合計	¥0	¥955,500
営業外収益	受取利息	¥3	
	受取利息合計	¥3	¥0
利益	営業利益		¥277,515
	経常利益		¥277,518

令和2年度 事業報告
令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

長谷支部 報告

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用した、健康づくりの調査研究
実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等
従事者の数	3名
受益対象者の範囲人数	研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収入	0千円
支出	0千円
内容:	

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行った。

以上

1.2 令和 2 年度 決算報告 (活動計算書) (案)
(法第 28 条第 1 項関係様式)

<理事会/総会 審議事項②>

令和 2 年度 活動計算書
令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目	金額 (単位 : 円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
・年会費(入会金含む)	68,650	
・独自会費	86,000	154,650
2 受取金		
・受取寄附金	100	
・受取助成金	0	
・受取委託金	29,510,000	29,510,100
3 事業収益		
・科学技術、文化、教育事業収益	0	
・保健、医療、福祉事業収益	7,104,515	
・国内・国際研究交流事業収益	3,020,000	10,124,515
4 その他収益		
・受取利息	27	
・雑収入	150,000	150,027
経常収益計		39,939,292
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
委託・協力経費	22,275,110	
旅費交通費	0	
消耗品	2,369,116	
会議費	288,061	
通信・光熱・水道費	624,752	
借料・移転費等	3,615,674	
印刷・成果発表経費	817,009	
減価償却	0	
雑費	852,932	
その他の経費計	30,842,654	
事業費計		30,842,654
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当等	243,500	
人件費計	243,500	
(2) その他経費		
委託・協力経費	1,874,500	
消耗品	3,939,855	
会議費	426,750	
通信・光熱・水道費	775,378	
借料・移転費等	1,725,627	
租税公課	0	
減価償却	0	
雑費	110,555	
その他の経費計	8,852,665	
管理費計		9,096,165
経常費用計		39,938,819
当期経常増減額		473
III 経常外収益		
1 準備金(前期繰越)		
・準備金(移転等)	795,000	
2 新事業準備借入金(組織内)	5,322,308	6,117,308
経常外収益計		6,117,308
IV 経常外費用		
1 準備金		
・準備金(移転等)	795,000	
(当期準備金支出 0円)		
2 新事業準備(仮払金含)	5,322,308	6,117,308
経常外費用計		6,117,308
当期正味財産増減額		473
前期繰越正味財産額		297,994
次期繰越正味財産額		298,467

1.2 令和 2 年度 決算報告 (貸借対照表) (案)

(法第 28 条第 1 項関係様式)

令和 2 年度貸借対照表
令和 3 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,242,932		
前払い金	600,000		
仮払い金	5,322,308		
未収金	645,535		
流動資産合計		10,810,775	
2 固定資産			
有形固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			10,810,775
II 負債の部			
1 流動負債			
・前受け金	3,790,000		
・未払い金	605,000		
流動負債合計		4,395,000	
2 固定負債			
・負債	0		
固定負債合計		0	
3 準備金			
準備金 (移転等)	795,000		
新事業準備仮払金	5,322,308		
準備金合計		6,117,308	
負債合計			10,512,308
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		297,994	
当期正味財産増減額		473	
正味財産合計			298,467
負債及び正味財産合計			10,810,775

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産						
什器備品	1,355,359	0	0	1,355,359	△1,355,359	0
合計	1,355,359	0	0	1,355,359	△1,355,359	0

1.2 令和 2 年度 決算報告 (財産目録) (案)

(法第 28 条第 1 項関係様式)

令和 2 年度財産目録
令和 3 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目・摘 要	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金 (情報・研究センター)	410,282	
手元現金2 (情報・研究センター)	0	
手元現金 (NS)	0	
手元現金 (IRI-College)	44,949	
みずほ銀行普通預金① (小口)	1,587,587	
みずほ銀行普通預金② (大口)	186,947	
みずほ銀行普通預金③ (引落用 1)	574,961	
みずほ銀行普通預金④ (引落用 2)	22,372	
みずほ銀行普通預金⑤ (IRI-College)	65,676	
みずほ銀行普通預金⑥ (NS部会)	357,957	
みずほ銀行普通預金⑦ (弘前支部)	662,926	
みずほ銀行普通預金⑧ (幸福科学研究所)	109,708	
みずほ銀行普通預金⑨	100	
京葉銀行普通預金	9,120	
ゆうちょ銀行①	104,032	
ゆうちょ銀行② (IRI-College)	218	
ゆうちょ銀行③ (幸福科学研究所)	15,717	
ゆうちょ銀行④ (NS部会)	90,090	
上伊那農業協同組合普通預金	290	
仮払い金 (新事業準備)	5,322,308	
前払い金 (情報・研究センター)	600,000	
未収金 (情報・研究センター)	0	
未収金 (弘前支部)	645,535	
流動資産合計		10,810,775
2 固定資産		
有形固定資産		
什器備品	0	
固定資産合計		0
資産合計		10,810,775
II 負債の部		
1 流動負債		
前受け金	3,790,000	
未払い金		
情報・研究センター事業委託費・経費	0	
弘前支部読影料・読影委託料・手数料等	605,000	
流動負債合計		4,395,000
2 固定負債		
負債	0	
固定負債合計		0
3 準備金		
準備金 (移転等) (当年度増減なし)	795,000	
新事業準備仮払金	5,322,308	
準備金合計		6,117,308
負債合計		10,512,308
正味財産合計		298,467

1.3 令和 2 年度 監査報告 (案) <理事会/総会 審議事項③>

北川壽昭監事と大山玄監事による、特定非営利活動法人 国際総合研究機構の 令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日までの令和 2 年度の、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録、について監査済み。その結果の 監査報告書を最終項に添付。

1.4 令和 2 年度 事業計画 (案) <理事会/総会 審議事項④>

(法第 10 条第 1 項関係様式)

令和 3 年度 事業計画書

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の計画

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、統合代替ホリスティック医療、人間の潜在能力、理念政策、未来予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なう。
- (2) 保健、医療、福祉、町創り事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保健・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画・拠点・街創りの企画・推進、等を行なう。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なう。
また、人的並びに IT を活用した、種々の交流支援事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替ホリスティック医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	200	国内外一般人多数	2,000,000
保健、医療、福祉、街創り事業	健康づくり(長谷)、医用画像診断支援、等(弘前)、統合代替ホリスティック医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画・拠点・街創りの企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	200	国内外一般人多数	5,000,000
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催・関連出版等支援、等 また、人的並びに IT を活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	80	国内外研究者、一般人多数	100,000

令和 3 年度 事業計画
令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

本部 ならびに 情報・研究センター 計画

本部 計画 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進する。

他法人の設立推進

「一般財団法人」の新設か、既存の一般財団法人を利用かを情勢を見極め決断する。

この中で、「(仮称)国際総合研究機構(IRI)」や「(仮称)IRI 潜在能力科学研究所」の設立をし、今後この分野の世界一の研究所化を目指す。

他法人を設立しても、現在の NPO 法人は、弘前支部の活動等のために当面残す必要がある。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、具現化する。

2020 年 11 月からは、他財源を活用して、長年の夢である本格的**大型ビル**として「いやしのビル」の**実現**の可能性が出て来た。山本理事長を中心に、その設計プラン作りに忙殺されている。詳細は本部移転計画の項に記す。

本構想の建設自体は他資金にて行うので、当機構としては、巨額の予算計上は行わない。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

人的並びに IT を活用した種々の交流支援

人的並びに IT 技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索し実施する。

特に、大学や他の研究機関との連携、海外の高名大学との連携は、優秀な人材確保のためにも急務で、可能性が出て来たので、推進する。

人材の公募

研究・技術・建築設計士・IT 広報・事務・秘書・院長候補・事務長候補など、各種人材の公簿を実施中 (ホームページ参照)。

心療内科・総合内科等クリニック・検診センター・研究所(合計診療室 10 以上、心理カウンセラー室 20 程度、大型診断機器 10 台以上)を開設するための準備として、創立期院長に帯津良一 帯津三敬病院名誉院長にご就任頂いた。より若い院長候補を公募中。より若い院長が定まった場合、帯津先生には名誉院長にご就任頂く計画。

勤務地は、当面は千葉市稲毛区 JR 総武線 快速停車駅 近辺。

自薦、他薦者は、山本幹男理事長まで、nsnpoiri@gmail.com 090-9232-9542 Fax 043-255-9143

書類送付先： 理事長分室 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-13-31 Peace 山本幹男

情報・研究センター 計画 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

- ・先端科学技術等・街創り等に関する研究・教育・普及・推進・支援を、資金導入量に従って実施する。
- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
- ・「第52回」2021年8月22日(日)開催予定 (Zoom学会) を共催し、支援する。 当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌 「Journal of International Society of Life Information Science」 Vol.39, No.2 の製作支援を行なう。
- ・「第53回」2022年3月20日(日) Zoom学会にての開催予定。(日にちが今後変更となることもある) を共催し、支援する。 当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」 Vol.40, No.1 の製作支援を行なう。
- ・その他は、前年度を継続する。

令和 3 年度 事業計画
令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 計画

1. 読影医の読影件数に制限があるため、件数増は見込めない中ではあるが、今後とも、依頼施設及び読影医との連携を深め、質の高い読影レポートの提供により、地域放射線医療に貢献していく。
2. 今期の計画
 - 1) 既存施設の深堀を進めるため、関係者との良好な関係を構築し、レポートの満足度向上を図る。
 - 2) 読影医の意見も反映させながら、遠隔読影のシステムのセキュリティ及び読影環境の向上を目指す。
 - 3) コロナ禍においては、衛生的にも安全に読影できる環境を読影医に提供していく。

以上

長谷支部 計画

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用した、健康づくりの調査研究
実施日	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等
従事者の数	10 名
受益対象者の範囲人数	研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収入	110 千円
支出	110 千円
内容:	

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行う。

以上

1.5 本部移転計画 (案) <理事会/総会 審議事項⑤>

2020 年春に、千葉市稲毛区の総武線快速停車駅(東京駅より快速で約 35 分)の現本部と反対側の西口 3 分に約 500 坪の土地が売りに出て、本部やクリニックも含む中規模「いやしのビル」構想の延床面積約 1,000 坪のプランを山本理事長を中心に作成したが、残念ながら、この土地はマンション業者に先に買われてしまい、実現しなかった。現在業者のマンション建設中。

そこで、2020 年 1 月に山本理事長個人が取得済みの、同じ稲毛駅の現本部と同じ側の東口徒歩 5 分の小規模な土地に、本部や中小規模「いやしのビル」構想を含む小規模ビル(上記の約 1/3 の延床面積)プランを山本理事長を中心に作成し、建築確認申請済。
別資金にて、建設予定で、準備工事を進めたが、下記が実現すると、全機能がそこに含まれてしまうので、再考中。

2020 年 11 月に、大型ビルの建つ土地が持ち込まれ、念願であった大型「いやしのビル」ビル(研究所を含む)の設計プランをかなり進めたが、土地の売手の意志が不透明となっている。

別の巨大な土地の話もあり、こちらにも設計プラン中。

現時点では、日々情勢が変化しているので、詳細が提示出来ないが、資金面を含めて、前進している。

総会当日には、より進展した話が出来る事を期待している。

予定用途: 国際総合研究機構(IRI)・国際生命情報科学会(ISLIS)等の本部、心療内科・総合内科等クリニック・検診センター・研究所(合計診療室 10 以上、心理カウンセラー室 20 程度、大型診断機器 10 台以上)、シンクタンク、情報発信、集会、交流、レストラン、「いやしのビル」の一部機能(各種健康増進、太極拳、気功、ヨガ、瞑想、卓球、各種代替ホリスティック医療の広場・ブース(各種募集中)、ダンス、音楽、等)、宿舎

建設地: 東京駅から総武線快速で現場迄 40 分程度の場所

完成すれば、IRI・ISLIS等の現本部は、新築ビルに移転する。
現本部は主として実験に使用。

1.6 令和3年度予算計画(案) <理事会/総会 審議事項⑥>

(法第28条第1項関係様式)

令和3年度 活動予算書

令和3年4月1日~令和4年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目	金額(単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
・年会費(入会金含む)	200,000	
・独自会費	2,000,000	2,200,000
2 受取金		
・受取寄附金	1,000,000	
・受取助成金	0	
・受取委託金	8,000,000,000	8,001,000,000
3 事業収益		
・科学技術、文化、教育事業収益	1,000,000	
・保健、医療、福祉事業収益	2,000,000	
・国内・国際研究交流事業収益	1,000,000	4,000,000
4 その他収益		
・受取利息	100,000	
・雑収入	10,000,000	10,100,000
経常収益計		8,017,300,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当等	2,000,000,000	
人件費計	2,000,000,000	
(2)その他経費		
委託・協力経費	5,000,000,000	
旅費交通費	20,000,000	
消耗品	30,000,000	
会議費	10,000,000	
通信・光熱・水道費等	5,000,000	
借料・移転費等	10,000,000	
印刷・成果発表経費	10,000,000	
減価償却	5,000,000	
雑費	10,000,000	
その他の経費計	5,100,000,000	
事業費計		7,100,000,000
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当等	200,000,000	
人件費計	200,000,000	
(2)その他経費		
委託・協力経費	370,000,000	
消耗品	100,000,000	
会議費	50,000,000	
通信・光熱・水道費等	12,000,000	
借料・移転費等 注1	60,000,000	
租税公課	2,000,000	
減価償却	20,000,000	
雑費	103,300,000	
その他の経費計	717,300,000	
管理費計		917,300,000
経常費用計		8,017,300,000
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
1 準備金(前期繰越)		
・準備金(移転等)	795,000	
2 新事業準備金借入金(組織内)	5,322,308	6,117,308
経常外収益計		6,117,308
IV 経常外費用		
1 準備金		
・準備金(移転等)	795,000	
2 新事業準備金(仮払含)	5,322,308	6,117,308
経常外費用計		6,117,308
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		298,467
次期繰越正味財産額		298,467

注1: 本部移転費 5,000万円を含む

令和3年度 活動予算書
 令和3年4月1日~令和4年3月31日
 (参考資料 実施指針)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科目	金額 (単位 : 円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
・年会費(入会金含む)	200,000	
・独自会費	1,000,000	1,200,000
2 受取金		
・受取寄附金	1,000,000	
・受取助成金	0	
・受取委託金	1,500,000,000	1,501,000,000
3 事業収益		
・科学技術、文化、教育事業収益	1,000,000	
・保健、医療、福祉事業収益	2,000,000	
・国内・国際研究交流事業収益	1,000,000	4,000,000
4 その他収益		
・受取利息	100,000	
・雑収入	10,000,000	10,100,000
経常収益計		1,516,300,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	400,000,000	
人件費計	400,000,000	
(2) その他経費		
委託・協力経費	545,000,000	
旅費交通費	20,000,000	
消耗品	20,000,000	
会議費	10,000,000	
通信・光熱・水道費等	5,000,000	
借料・移転費等	10,000,000	
印刷・成果発表経費	10,000,000	
減価償却	5,000,000	
雑費	10,000,000	
その他の経費計	635,000,000	
事業費計		1,035,000,000
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当等	80,000,000	
人件費計	80,000,000	
(2) その他経費		
委託・協力経費	100,000,000	
消耗品	100,000,000	
会議費	50,000,000	
通信・光熱・水道費等	6,000,000	
借料・移転費等 注1	30,000,000	
租税公課	2,000,000	
減価償却	10,000,000	
雑費	103,300,000	
その他の経費計	401,300,000	
管理費計		481,300,000
経常費用計		1,516,300,000
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
1 準備金(前期繰越)		
・準備金(移転等)	795,000	
2 新事業準備金借入金(組織内)	5,322,308	6,117,308
経常外収益計		6,117,308
IV 経常外費用		
1 準備金		
・準備金(移転等)	795,000	
2 新事業準備金(仮払含)	5,322,308	6,117,308
経常外費用計		6,117,308
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		298,467
次期繰越正味財産額		298,467

注1: 本部移転費 2,500万円を含む

1.7 役員選出 (案) <理事会/総会 審議事項⑧>

下記以外の方の**理事・監事への立候補を受け付**： 2021 年 4 月 26 日締切、山本幹男理事長迄。
理事内の理事長等の役割分担は、総会直後の新理事会の決定事項。

令和 3 年度 役員名簿
(令和 3 年 7 月 1 日から令和 4 年 6 月 30 日まで)

令和 3 年 4 月 2 1 日草案版

特定非営利活動法人 国際総合研究機構			
役名	氏名	所属・肩書	備考
理事長	山本 幹男	国際生命情報科学会(ISLIS) 理事長(元会長)・編集委員長 元 東邦大学理学部 客員教授・千葉大学大学院 助教授 元 文部科学省 放射線医学総合研究所 研究室長 元 米国 ワシントン大学 にて約 2 年間研究	情報・研究センター長
副理事長	河野 貴美子	IRI 生体計測研究所 所長、IRI 健康科学研究所 所長 国際生命情報科学会(ISLIS) 副会長(元会長)・事務局長 元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学	研究所長
理事	池上 直彦	長野県 伊那市 市議会議員 元 長野県伊那市 長谷総合支所長、元 産業振興課長 元 伊那市観光協会観光 プロモーター	長谷支部長
理事	ベッカー カール フラットリ- (BECKER CARL RADLEY) (別華 薫)	京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授	京都大支部長
理事	向井 俊博	(有) コパン 代表取締役、 元 富士通デジタル・テクノロジー (株) 取締役	
理事	高木 治	IRI 情報研究センター 科学部長 国際生命情報科学会(ISLIS) 理事 元 埼玉短期大学 情報メディア学科 准教授	事務局長
理事	白木 享介	PSP 株式会社 取締役 兼 執行役員	弘前支部長
理事	青山 圭秀	元 カリフォルニア州立大学 客員教授 (株) アートオブサイエンス 代表取締役	
監事	北川 壽昭	国際生命情報科学会(ISLIS) 幹事、 NPO 法人 気功文化センター 常務理事、 元 日本電気 医療機器事業部 エグゼクティブエキスパート	
監事	大山 玄	IRI 主任研究員、多摩リハビリテーション学院 非常勤講師、 元 郵政省電波研究所 主任研究官、 元 徳島大学医学部 講師	

幹事(役員外)

IRI 情報研究センター 技術部長・主任研究員

世一 秀雄

<理事会/総会 参考事項⑨>

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (IRI:アイリ) 組織表

2021 年 4 月 21 日草案版

<p>■ IRI 理事長 山本 幹男 (元 東邦大学 客員教授、元 文部科学省 放射線医学総合研究所 研究室長、元 ワシントン大学 にて研究、元 千葉大学 客員助教授、元 東北大学 講師 電話 090-9232-9542 Fax: 043-255-9143 E-mail: nspoiri@gmail.com)</p> <p>■ IRI 副理事長 河野 貴美子 (IRI 健康科学研究所所長、国際生命情報科学会 副会長、元 日本医科大学)</p>	<p>■ IRI 長谷支部 (従たる事務所) 支部長: 池上 直彦 理事 (伊那市議会議員、元 長野県伊那市 長谷総合支所長、元 伊那市観光協会観光 プロモーター) 電話: 0265-98-2211, Fax: 0265-98-2029 E-mail: iina00093.ikegami@gmail.com 支部: 〒396-0401 長野県伊那市長谷非持 2654</p>
<p>■ IRI 本部 (主たる事務所) (IRI 連絡先 当欄下記) ■ IRI 情報・研究センター 本部長・センター長: 山本 幹男 理事長 事務局長: 高木 治 IRI 情報研究センター 科学部長 実務主任: 古谷 祐子 IRI 連絡先 〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 4 階 電話: 043-255-5481, Fax: 043-255-5482 E-mail: iri@a-iri.org http://www.a-iri.org/iri-jp/</p>	<p>■ IRI 弘前支部 (従たる事務所) 支部長: 白木 享介 理事 (PSP ㈱取締役兼執行役員) 〒106-0031 港区西麻布 4-16-13 西麻布六本木通ビル (9 階 PSP 内) 電話: 03-3406-2310, Fax: 03-5485-2479 E-mail: kyosuke.shiraki@psp.co.jp 支部: 〒036-8003 青森県弘前市駅前町 15-3 武田ビル 電話: 0172-31-0818, Fax: 0172-31-0828 E-mail: s.matsuyama@psp.co.jp</p> <p>■ IRI 京大東支部 支部長: 別華 薫 (BECKER, Carl Bradley) 理事 (京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授) 〒606-8501 京都市左京区近衛町 京都大学 医学部内 電話: 075-753-9486, Fax: 075-753-9486 E-mail: becker.carlbradley.5e@kyoto-u.ac.jp</p>

海外支部

<p>■ IRI 北戴河支部 (中国河北省) 支部長: 王 鳳桐 主任研究員 (中国 河北省 医療気功病院 院長) 河北省医療気功病院 内 中国 河北省 北戴河東経路 198 号 電話: +86-335-4025753 Fax: +86-335-4025754 日本連絡先: IRI 情報・研究センター</p>

研究組織等

<p>■ IRI 倫理委員会 委員長: 河野 貴美子 IRI 副理事長</p>	<p>■ IRI 幸福社会研究所 (連絡先: IRI 情報・研究センター内) 所長: 伊藤 武彦 和光大学 教授</p>
<p>■ IRI 生体計測研究所 (IRI 情報・研究センター内) 所長: 河野 貴美子 副理事長 (元 日本医科大学)</p>	<p>■ IRI 生命哲学不知火研究所 所長: 北岡 秀二 (国際生命情報科学会 特別顧問、元 人間サイエンスの会 顧問、元 法務政務次官・元 参議院議員・参議院文教科学委員長) E-Mail: ryozaan@stannet.ne.jp</p>
<p>■ IRI 生体放射研究室 (IRI 情報・研究センター内) 室長: 山本 幹男 理事長</p>	<p>■ IRI 北杜健康研究センター 理事長: 高橋 武生</p>
<p>■ IRI 健康科学研究所 (IRI 情報・研究センター内) 所長: 河野 貴美子 副理事長 (元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学)</p>	<p>■ IRI 理論物理学研究所 所長: 種市 孝 (元 東京大学、電気通信大学) 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 1-35-22 E-mail: sanshiro201@dream.bbexcite.jp Fax: 042-356-0283</p>
<p>■ IRI 健康法普及会 (IRI 健康科学研究所付属) 会長: 伊藤 正敏 (東北大学 名誉教授、仙台画像検診クリニック 院長)</p>	<p>■ IRI 自然愛好会・自然研究会 (IRI 情報センター内) 会長: 世一 秀雄 (IRI 情報研究センター 技術部長) E-mail: yoichi@npo-iri.org</p>
<p>■ IRI - College (アイルカレッジ) (IRI 情報センター内) 学 長: 山本 幹男 理事長 http://iri-college.org/ 副学長: 河野 貴美子 副理事長 E-mail: npo.iri.college@gmail.com</p>	<p>■ IRI 「いやしのビル」企画委員会 委員長: 山本幹男 IRI 理事長 電話 090-9232-9542 E-mail: nspoiri@gmail.com</p> <p>■ IRI (仮称)「潜在能力科学研究所」創立責任者: 同上</p>

関連団体

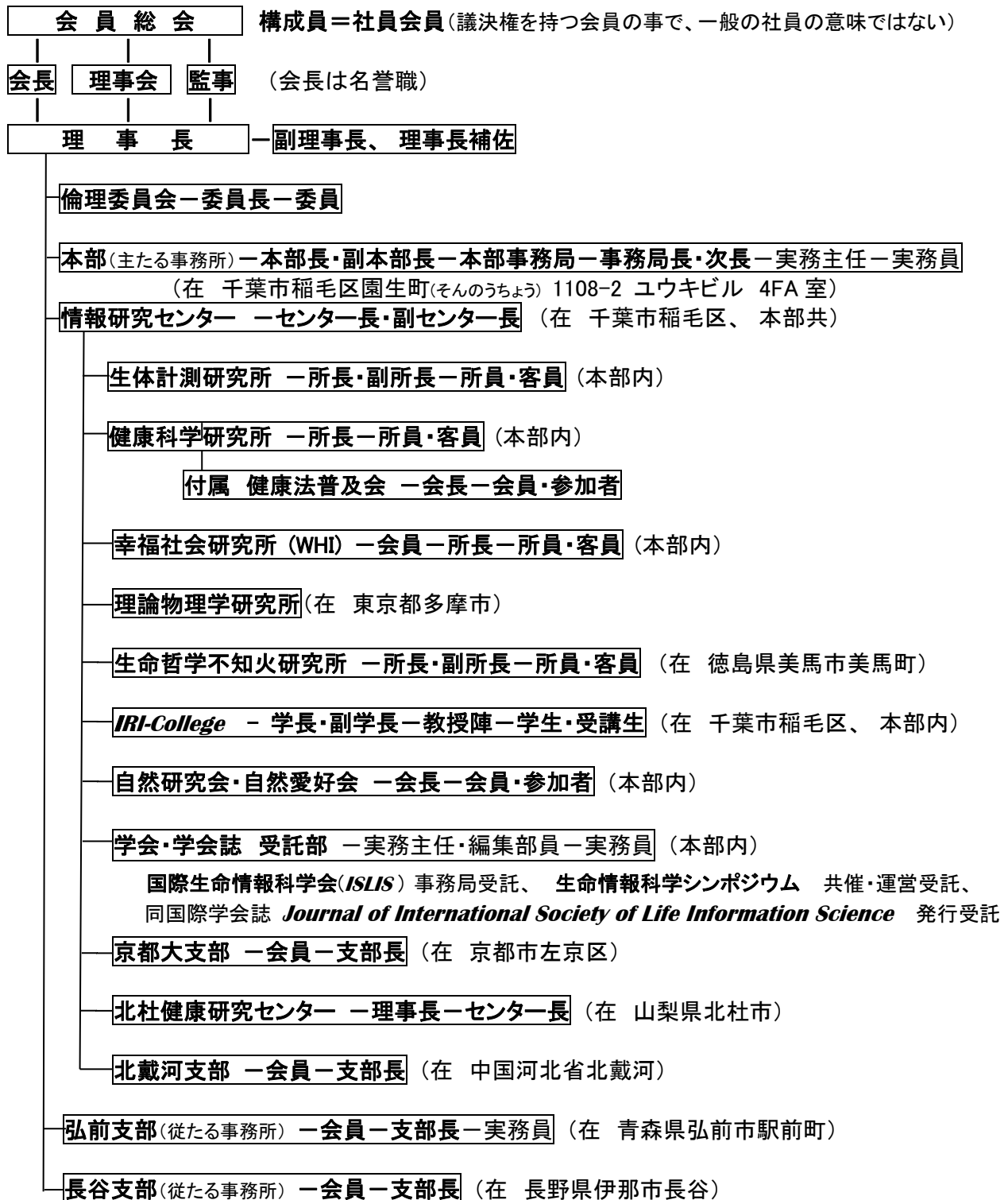
<p>事務局受託: 「国際生命情報科学会 (ISLIS)」 http://www.islis.a-iri.org/ islis@a-iri.org IRI 情報・研究センター内</p>

NPO - International Research Institute (NPO-IRI)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (略称: NPO-IRI、アイリ)

組 織 図

2021 年 4 月 21 日草案版



令和2年度 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 国際総合研究機構
理事長 山本 幹男 殿

令和3年4月26日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の活動報告、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査を行った。


監査の結果は下記の通りである。

記

1. 事業は本会の目的を達成するために、事業計画に基づき適正に執行されていることを認める。
2. 財務は本会定款に従い本会事業のために正しく運営されていることを認める。
3. 活動計算書、貸借対照表、および財産目録は、本会定款に従い本会の財産および収入支出状況を正しく示しているものと認める。

以上

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

監事 北川 壽 昭 

監事 大 山 玄 